

北関東を中心に放課後等デイサービスや児童発達支援を行う「こどもサークル」などの福祉施設を運営しています。昨年、全国介護事業者連盟の障害福祉事業部会内に茨城県支部が設立され、私が支部長をさせていただくことになりました。県内の事業者全体がより質の高い支援ができるよう情報やスキルを共有していきます。

障がいのあるお子様やご家族に寄り添う支援業務は、職員の高い志と経験に支えられている側面が大きく、待遇を

(株)サシノベルテ

代表取締役

久保田 嘉郎氏



支援水準向上へ知見共有

改善し長く働ける仕組みが欠かれません。スキルアップの研修に加え、ライフステージに合わせられる勤務形態の多
様化に取り組んでいます。産後、子育て支援の会社として
体・育休中の職員も10人以上誇れる改革を続けます。
おり、男性取得者もいるので、限られた労働時間で支援業務に注力し賃金向上を目指す

には事務の効率化も不可欠です。人と接する業務が中心でITが苦手という社員も多い中、社内リスティング委員会を設け、専門知識に加え、一人ひとりが業務の効率化を習慣化する土壌も生まれまし

た。視野が広がり、能力や生産性の向上にも役立っています。
保護者支援では、連携機関の慶応大と協力しオンラインでの学びや支援の機会を増やしています。地域連携も進め、保育園や学校を訪問し、課題を抱える児童の支援も実施しています。秋には施設を利用してしていることも達が、パートナー契約を結んでいる鹿島アントラーズの協力のもと初めてスタジアム観戦をすることが出来ました。様々な特性のあることも達が、保護者、選手、職員と一体感を築きめた貴重な機会となりました。